



病と闘う子どもと家族のサポートハウス

# パンダハウス

# News Letter

vol.18 2024年3月号  
(年2回3月、9月発行)

HP QRコード



発行

認定特定非営利活動法人 パンダハウスを育てる会 事務局  
TEL 024-548-3711  
〒960-8157 福島県福島市蓬萊町八丁目15番地1

HP <https://pandahouse.org>  
facebook <https://facebook.com/npo.panda.house>  
E-mail [office@pandahouse.org](mailto:office@pandahouse.org)

## 令和5年度事業報告と 令和6年度の取組について

理事長  
山本佳子

コロナ禍により依然として活動の幅を広げることが難しい状況ですが、この度、無事5年ごとの認定NPO法人資格更新が問題なく認められたことをまず報告させていただきます。認定制度はご寄附いただく皆様に優遇税制を受けていただくための重要なものですので安堵いたしました。

ハウスの運営については、ボランティアさんが徐々にではありますが増えてきました。学生さんなどの若い方もお越しいただき、ありがたい限りです。

令和5年度は、コロナ感染対応が少し軽減されたこともありましたが、インフルエンザ流行の兆しも見られ、宿泊業務につきましては、1日1棟1室を基本に運営を行ってきました。ハウスのほーる利用は須賀川支援学校医大校からの要請もあり、ご利用いただいていることは嬉しい気持ちでいっぱいです。

当会の第2の柱である相談事業は、福島県立医科大学附属病院でも受入れられ、年間500件以上の相談に応じています。活動は病院以外の場でも行っており、福島市、郡山市、いわき市、会津若松市、県中保健福祉事務所などより依頼を受け、長期療養児や

慢性特定疾病児の自立支援事業に絡む研修や交流会に参加させていただき、連携の基盤ができてきたように思われます。

しかし、コロナ禍において当会主催のイベントができず、その影響が少しずつ現れてきました。今後は、コロナ禍による国・県・市などの助成金・補助金を受けることができ、またメディア取材によるハウスの苦境の取材やクラウドファンディングによるパトチャル美術館オープンを取り上げていただいた事による露出があり、善意の皆様によるご寄附でなんとか運営してきました。

しかし、年々ご寄附の金額も減ってきております。それに反して物価の高騰や光熱費の値上げが、ハウス運営に大きな影響を与えており、対策を講じなければならないと考えております。

この「パンダハウスを育てる会」が、今後も健全に育ち続けることができますように、何卒よろしくお願い申し上げます。



### 令和5年度活動報告

(自 令和4年10月～至 令和5年9月)

#### ●決算報告書

(単位:円)

収入の部	
科目	金額
会費	2,640,000
寄附金	11,889,482
助成金	1,650,000
事業	973,040
その他	9,352
前期繰越	11,472,449
収入の部合計	28,634,323

支出の部	
科目	金額
事業費	16,367,370
管理費	1,483,670
法人税	72,000
積立基金	2,411
次期繰越	10,708,872
支出の部合計	28,634,323

#### ●パンダハウス利用者数と居室稼働率

家族数	130家族
延べ人数	1,473人
稼働率	20.3%

注:新型コロナウイルス感染防止対策実施  
各棟1日1室を利用した。

#### ●地域別利用者数

	家族数	割合
福島県内	94	72.3%
福島県外	36	27.7%

### 令和6年度事業実施方針

(自 令和5年10月～至 令和6年9月)

- 1 難病と闘っている子ども及びその家族の多様化したニーズに応えられるように、地域連携の基盤を作りながら、ハウスの宿泊利用と相談支援の充実を継続する。
- 2 長期的に安定した運営を継続できる体制作り及び広報活動の充実を図りながら活動を継続する。

#### ●相談対応件数

<相談内容について>

相談内容	件数
1 経済的支援	98
2 生活支援	147
3 教育・就労支援	39
4 治療継続支援	138
5 多職種連携	46
6 その他	52
合計	520

1 経済的支援	医療費負担の軽減(高額療養費、子ども医療助成、小児慢性特定疾病医療費助成、育成医療、特別児童扶養手当、奨学金、障害年金等)
2 生活支援	福祉サービス等社会資源につなぐ支援(身体・療育・精神手帳)、補装具日常生活用具給付、ファミリーサポート、家族会、パンダハウス等
3 教育・就労支援	就学、進学、就労に向けて関係機関との情報共有・提供等
4 治療継続の支援	退院後の医療的調整(リハビリ、放課後等デイサービス、レスパイト、訪問看護ステーション、地域保健師との情報共有)
5 多職種連携支援	多職種連携支援(カンファレンス参加、退院・地域関係者、市町村・保健師・学校・相談支援事業所等・児童相談所等)
6 その他	療養にともなう本人家族等へ支援

## 明るさでいっぱいのパンダハウス

福島県立医科大学附属病院小児外科教授  
移植医療部部长

### 田中 秀明



「次はパンダハウス、パンダハウス。パンダハウスは病と闘う子どもたちをサポートするファミリーハウスです」

ある夜バスでその前を通りがかった時に聞こえてきた車内アナウンスです。いくつかの柔らかい明

りに照らされたその建物が、かわいらしいコテージのような木目調のデザインであることに改めて気づかされます。

このパンダハウスの中に初めて入ったのは、一昨年パンダハウスを育てる会の総会にお呼びいただいたときでした。中をご案内いただいて最も強く感じた印象はその明るさです。大きなガラス窓や引き戸がたくさんあって陽の光がふんだんに差し込むような設計というだけでなく、ところどころに子どもたちが喜びそうな遊具や絵本がさりげなく置かれていて、見ているこちらも明るい気持ちになっていきます。また何よりも役員の方々をはじめ運営されているスタッフの皆さんの優しい物腰と笑顔が大変印象的でした。キッチンを含め生活に必要なものが過不足なく揃えられており、床もピカ

ピカで掃除も行き届いています。利用された方々からの感想の欄が感謝の声であふれているのも納得できます。

利用したお子さん方が書いた絵がいくつも飾られている部屋も見学させていただきました。私たち小児外科のもとで手術を受けた患者さんの名前もみつけた時には、そのかわいらしい絵を見ながらそのお子さんが親御さんと一緒に大変な治療を乗り越えていた様子を思い出します。パンダハウスで過ごした時間もその頑張りの原動力になったに違いありません。

このパンダハウスは単なる宿泊施設としての役割だけではなく、専属の相談員の方がおられ、親御さん達は長い入院生活の中で、また退院後もつづく様々な社会的、心理面での心配事の相談にもものってもらえ、サポートが受けられるとのこと伺いました。市内の企業の有志の方々を含め、多くのボランティアの方々のお力によるイベントの企画も盛んです。その停留所名が以前の近くの公園名から「パンダハウス」と変わったのも、バス会社はもちろん、地域住民の皆さんからのパンダハウスへのエールの賜物に違いありません。

もしかすると今日もパンダハウスでは、病棟のお子さんが束の間のご家族との外泊の時間を笑顔で過ごしているのかな、など思いを巡らせます。病と闘う子どもたちを応援する大勢の方々の想いが集まるこのパンダハウスが、これからも笑顔と明るさであふれ続けることを願ってやみません。

## 相談事業報告

### 「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業」 を皆さんご存じですか？

慢性的な疾病を抱えるお子さんやそのご家族の負担を軽減や長期療養しているお子さんの自立や成長支援などを目的として児童福祉法で定められている制度です。

パンダハウスを利用している多くのお子さんも、医療費負担の軽減などこの制度を利用されています。令和5年度パンダハウス相談事業では、いわき市・福島市・白河市・会津若松市など行政の方から声をかけていただき、講演や交流会のアドバイザー等を担当させていただきました。

ご参加いただいたご家族の方々よりあらためて人と人のつながりの大切さを学ばせていただいたと同時に、パンダハウスへの期待もお伺いすることができました。



令和5年10月18日「育ちをささえる学習会」にて  
左より 森相談員、宮崎さん(なないろくれよん)、山本理事長

### 全国医療的ケアライン (アイライン)の紹介

医療的ケアが必要な当事者と家族、および支援者をつなぐ全国ネットワークで、2022年3月に誕生しました。都道府県単位に会員登録する組織で、当会は福島県の事務局を担っています。病気や障がいがあっても、安心して住み慣れた地域で暮らし続けられる社会作りのため、地域を超えた情報交換や啓発イベント開催などの活動が行われています。

福島県は「福島アイライン」という名称で活動していて、主にオンライン交流会を実施しています。「画面上だけではなく、直接お会いしてお話したい」という思いを実現し、パンダハウスのホールにて交流しました(2022年秋)。今後は、広報活動にも力を入れていきたいと思っています。



福島アイライン パンダハウスでの交流会

# 活動報告

2023年9月～2024年2月

## パンダハウスも育てる会の活動紹介とハウス運営費のため、 チャリティーバザーを開催

2023年10月21日(土)

### 第36回ふれあい広場(福島市社会福祉協議会主催) に出店しました

今年度も「道の駅ふくしま」で開催されたふれあい広場でパンダハウスの活動紹介とチャリティーバザーで参加しました。午後から雨模様の天候となり早めの店じまいとなってしまいましたが、パンダの着ぐるみでボランティアさんも応援していただき、訪れた皆様にはしっかりとアピールできたと思います。



2023年11月4日(土)

### 「命を救うプロジェクト」(福島21ロータリークラブ主催) にバザー出店しました

福島駅前通りで開催された「命を救うプロジェクト」に参加させていただきました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



2023年10月22日(日)

### 「たざわさん'ず」感謝祭にバザー出店しました

パンダハウス近くで、5月から12月、毎日曜日開催の「たざわさん'ず」。今回は感謝祭ということで、ハウスも日頃の感謝を込めた持ち帰り自由コーナーの設置と全国の皆様からお送りいただいたバザー品を販売させていただきました。



2023年11月18日(土)

### 「ふくしま市民活動フェスティバル2023」 (ふくしま市民活動フェスティバル2023実行委員会主催) に出店しました

JR福島駅近くのA・O・Z(アオウゼ)で開催された市民活動団体・社会貢献活動団体が集まる市民活動フェスティバルでパンダハウスの活動をアピールしました。



全国の皆様から手作りバザー品をご寄贈いただき感謝申し上げます。

## ボランティアの皆さんと共にハウス環境を整えています

2023年12月2日(土)

### パンダハウス花壇の花植え替えをしました

パンダハウスボランティアズの皆様に冬・春の花を植えていただきました。花を太陽に向けて植えるそうですが、向きが違って花は誰が植えたのかな?(笑)

ご協力いただきました皆様、大変ありがとうございました。

### 今年も大きな クリスマスツリーが出現!

パンダハウスの恒例行事となった特大のツリーが「みんなのほーや」に設置されました。

もちろん「みんなのほーや」にも大きなツリーがありますよ。

今年も設置していただきました東邦銀行シーガルテニスクラブの皆様、ありがとうございました。



2023年12月3日(日)

### ボランティア感謝デーを開催しました

4年ぶりとなるボランティア交流会を「みんなのほーや」にて開催することができました。ボランティアさん21名、理事・スタッフ8名が参加しました。まだまだ、新型コ



パンダハウスみんなのほーやにてコロナやインフルエンザの感染リスクがあり、自由な会話もできない状況でしたが、隣り合った方々とボランティア活動について熱心に話されていました。

# 利用者さんの声

退院前の試験外泊で利用させていただきました。

娘は9月に移植をしたので8カ月ぶりに病院の外へ出ることができました。広くてきれいでオモチャがたくさんあり、大きなツリーもあり娘は大喜びでした。

私も娘の移植後、初めての外泊で不安があったのですが、本当に充実した施設で、とても快適で楽しい時間を過ごすことができました。スタッフさんもみんな優しく、娘に声をかけてくれて娘も楽しそうでした。たくさんのクリスマス飾り付けにもとてもいやされました。

本当にありがとうございました。お世話になりました。この素敵な場所がずっとあってほしいなと思いました。



娘が手術をした当日、PICUに入ったため、利用させていただきました。お部屋もきれいで、トイレやお風呂もきれい、洗濯機なども利用可能となっていて、充実した施設だと感じます。また、医大からも近く、すぐに行ける距離のため、安心して過ごすことができました。手術が終わり、施設に来たのが夜になってしまいました。入り口はどこだ…と悩んだ部分はありましたが、中に入るとすぐ、「フェイフェイはこちらです→」の案内と「ゆっくり休んでください」のスタッフさんからのメモになんとか安心しました。お部屋にも案内書が置いてあり、細かく説明用紙も入っていてわかりやすかったです。

数か月後また利用するかもしれません。もう一度利用したいと思えるところでした。ありがとうございました。お世話になりました。

久々のパンダハウス利用でした。けれど今回の利用は、娘の初外出も含めた利用で生まれて初めて病院から外の世界へ。ゆっくりと娘と過ごすことができました。たくさんの方々に力をかりて無事に外出することができました。娘も病院では見せない表情、周りをキョロキョロして見る物すべてに目を丸くしていました。娘も楽しかったと思います。私も楽しかったです。

来月は初の外泊を予定しています。退院前にまずパンダハウスで娘の様子を知り何かあったら…と考え今回利用させていただきました。いつも親切にして下さりありがとうございます。



今回2回目の利用でした。1回目も2回目も手術が終わってからの利用で夜遅くからの利用でしたが、部屋の電気も付いていて帰宅してからも(利用後)安心してお部屋に入ることができました。部屋もシャワー(入浴室)もきれいで、使いやすかったです。娘は術後PICUに入りました。12時間以上の手術で術後も不安と心配がありました。病院から近いということもあり、面会後は安心してパンダハウスで休むことができました。また、何かあれば利用させていただきたいです。お世話になりました。

子どもの付き添い入院で利用させていただきました。

夜から1人で利用だったため、心細かったですが、パンダハウスに到着すると、室内の灯りがついており、温かい気持ちになりました。家から病院までが遠いため、このような施設があり、本当に助かりました。

また、機会がありましたら利用させていただきたいです。



退院に向けて、試験外泊のため、利用させていただきました。入院してから初めての外泊で、長期間の入院のため、病院の外へ行く事すらなかなかできなかった娘は大喜びでした。

今後、自宅での過ごし方もイメージできたので、とても良かったです。ハウス内も清潔でとても快適でした。また、ぜひ利用したいです。

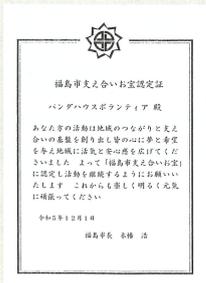


※(一社)遊びで支援R様からの寄贈品です。

## 福島市から「暮らしの中の支え合い・お宝認定」をいただきました



日常の交流の中で、何気なく行われているちょっとした支え合い＝「お宝」に



パンダハウスボランティアの皆様  
の活動が選ばれました。

皆様を代表し、日曜日ボランティアの三好さんに認定書を受け取っていただきました。

## ボランティアさん募集中

パンダハウスの内外を清掃して下さるボランティアを募集しています。

- 活動時間
- 10:00 ●利用者の居室、浴室、トイレ、リビングの清掃(毎日)
  - 花壇の整備 花植え(6月・11月)、除草(4月～11月)
  - 12:00 ●駐車場付近の草刈り(6月～10月)

パンダハウスは365日ご利用いただける施設です、活動日についてはご相談に応じます。

## 賛助会員への加入とご寄附のお願い

賛助会員年会費 個人：(1口) 3,000円(1口以上)  
団体：(1口)10,000円(1口以上)

### 年会費・寄附金振込先

郵便為替口座 口座記号番号：02200-9-110330

加入者名：認定特定非営利活動法人  
パンダハウスを育てる会

\*他金融機関から、郵便振替の場合  
店名：二二九(二二キユウ)店 当座預金 0110330